



Guest Conductor

Kotani Yasuo : 小谷 康夫

Piccolo

Sato Yukari : 佐藤由加里

Flute

Sato Tsukasa : 佐藤 司

Uotani Yoko : 魚谷 陽子

Nobesawa Yoko : 延澤 優子

Oboe

Sakamoto Makiko : 坂本真貴子

Ueshima Yoko : 上嶋 悠子

Clarinet

Hatazawa Atsuko : 畑澤 淳子

Onishi Harumi : 大西 晴巳

Matsumoto Yuki : 松本 ゆき

Nagao Kyoko : 長尾 恭子

Ishida Keiko : 石田 契子

Iida Yoko : 飯田 祐子

Ohe Nana : 大江 奈々

Nishida Sachiko : 西田 幸子

Fukuda Aya : 福田 彩

Sasaki Hiroyuki : 佐々木博幸

Bass Clarinet

Sato Hiroshi : 佐藤 浩史

Bassoon

Takahashi Shiho : 高橋 志穂

Alto Saxophone

Ogawa Yoko : 小川 陽子

Ito Kohei : 伊藤 耕平

Tenor Saxophone

Hatsuoka Kazuki : 初岡 和樹

Baritone Saxophone

Okuda Hiromi : 奥田ひろみ

Horn

佐々木まゆ : Sasaki Mayu

小川 貴子 : Ogawa Takako

日置 澄人 : Hioki Sumihito

佐伯 直人 : Saeki Naoto

Trumpet

魚谷 昌克 : Uotani Masakatsu

国元 昌広 : Kunimoto Masahiro

表 恭子 : Omote Kyoko

吉川 茂宏 : Yoshikawa Shigehiro

篠木 章江 : Shinoki Akie

Trombone

田中 真二 : Tanaka Shinji

田口 秀雄 : Taguchi Hideo

小島 正浩 : Kojima Masahiro

萱原 淳嘉 : Kayahara Atsuyoshi

Euphonium

大西 善郎 : Onishi Yosio

Bass

吉村 大介 : Yoshimura Daisuke

岩城 茂夫 : Iwaki Shigeo

Percussion

河津 雅之 : Kawatsu Masayuki

平井 晶 : Hirai Aki

下村 智子 : Shimomura Tomoko

前河内芳昭 : Maekawauchi Yoshiaki

板垣 麻子 : Itagaki Asako

小椋由希子 : Ogura Yukiko

Stage Manager

河村 穰香 : Kawamura Yutaka



2000年 夏の演奏会



<http://www.interq.or.jp/classic/a-winds/home.htm>

2000.7.16 SUN. OPEN14:00 START14:30
いかるがホール大ホール



Program

指揮：佐藤司
酒井 格
たなばた

指揮：魚谷昌克
モートン・グールド
サンタフェ物語

客演指揮：小谷康夫
福島弘和
道祖神の詩

<休憩>

ノーマン・デロ・ジョイオ
ルーブルの情景

- 1) 入り口
- 2) 子供たちのギャラリー
- 3) フランスの王様
- 4) キリストの降誕
- 5) 終曲

ポール・W・ホエアー
交響曲第1番「ストーンヘンジ」

- 1) 冬至
- 2) 招魂
- 3) いけにえ

Conductor : Sato Tsukasa
Sakai Itaru

The Seventh Night of July ~TANABATA~

Conductor : Uotani Masakatsu
Morton Gould

Santa Fé Saga

Guest Conductor : Kotani Yasuo
Fukushima Hirokazu

Chant for "DOSOZIN"

<intermission>

Norman Dell Joio

Scenes from "The Louvre" based on Ancient Airs

- 1) The Portals
- 2) Children's Gallery
- 3) The Kings of France
- 4) The Nativity Paintings
- 5) Finale

Paul W.Whear

Symphony No.1 "STONEHENGE"

- 1) Solstice
- 2) Evocation
- 3) Sacrifice



Program



Program Note

たなばた(1988)／酒井 格(1970-)

五節句の1つである七夕は旧暦7月7日の行事であり、中国から伝来した宮廷の行事と日本古来の農村の行事を起源とし、その歴史は古く奈良時代(8世紀中頃)までさかのぼることができます。

曲の中間部のアルトサクソフォンとユーフォニアムのソロは、天の川に隔たれ1年に1度七夕の夜にだけ逢う事が許された、織女(こと座のヴェガ)と牽牛(わし座のアルタイル)を表しています。

サンタフェ物語(1956)／モートン・グールド(1913-1996)

アメリカ合衆国南西部に位置するニューメキシコ州サンタフェは、芸術に溢れた文化都市として知られています。また、インディアン文化、スペイン文化、白人文化の融合した大変ユニークな街としても有名です。

曲は、「リオ・グランデ」「ラウンド・アップ」「ワゴン・トレイン」「フィエスタ」と名付けられた連続して演奏される4つの部分からなり、サンタフェの歴史や背景を思い起こさせるようなフルートのソロに始まり、家畜をかり集める活気溢れる情景、朝もやの中を出発する幌馬車隊、メキシコ風の祭りの情景を描いていますが、民謡などを引用せず、すべて作曲者自身の創作によるものです。

道祖神の詩(1999)／福島弘和(1971-)

道祖神とは、中国の旅の守護神が仏教と一緒に伝わったものといわれており、以来日本では農民を中心に無病息災、縁結び、子孫繁栄、豊作などを願って幅広く信仰されました。像碑は男女が仲むつまじく並び手を握りあったものが多く、そこには人間のやさしさ、愛がたたえられています。

この曲にはそのような道祖神に対する敬意と、これからの時代がやさしい愛に包まれてほしいという願いが込められており、沖縄音階で表現することにより、そのメッセージが強調されています。

ルーブルからの情景(1962)／ノーマン・デロ・ジョイオ(1913-)

フランスのパリにあるルーブル美術館は、世界で最も古い美術館の1つに数えられています。

曲は、アメリカのNBCテレビで放映されたこの美術館のドキュメンタリー番組のための音楽を、抜粋、編曲した5つの楽章からなる組曲であり、部分的にルネサンス期の音楽が引用されています。

交響曲第1番「ストーンヘンジ」(1969)／ポール・W・ホエアー(1925-)

ストーンヘンジとは、イギリス南部のソールズベリー平原にあるサークル状の巨石遺跡のことです。そのルーツについては、太陽崇拝の神殿説や、古代の天文台説などさまざまな説がありますが、実際は何の目的で造られたのかまったく謎のペールに包まれています。

曲は、この巨石遺跡をテーマとする1つのドラマティックなストーリーを持つ描写音楽として書かれています。

「冬至の日の夜明け、1年で最も大切な儀式がとり行われようとしている(第1楽章)、僧侶の行列といけにえに選ばれた乙女が招き入れられる(第2楽章)、いけにえとなった乙女が火あぶりにされて死に至る(第3楽章)、しかし結局、無限の時間の流れの中にあるストーンヘンジは、風が吹きさらす平原の謎に満ちた空虚さの中に立ち戻っているのである。」(作曲者によるト書きより)

Program Note



Profile

ご挨拶

団長 魚谷 昌克

本日は演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。

音楽を通じて皆様方とこうしてお逢いする機会を持つことが出来たことに、*A-Winds*一同、心より感謝しております。

県内には数多くの一般の吹奏楽団があり、個々の活動は中学や高校をも凌ぐほど非常に熱心で盛んであります。そのような文化活動に恵まれた環境の中、我々*A-Winds*奈良アマチュアウインドオーケストラは1999年10月に新しいアマチュア吹奏楽団として誕生しました。数え切れないくらい多くある音楽のジャンルの一つである吹奏楽をこの上無く愛し、発足と同時に活動を始めて以来約10ヶ月の間に、昨年12月の“デビュー演奏会”今年3月の“*A-Winds*2春の演奏会”そして本日も、おかげ様をもちまして演奏会3回を開催し、団員も47名に成長することが出来ました。これも本日も越しいただきました皆様方のご指導、ご支援あってのことと厚く御礼申し上げます。

既にご存知の方もおられるかと思いますが、*A-Winds*は最小人数の吹奏楽=ウインドアンサンブルを指向しております。演奏面は勿論のこと、運営面も含む活動全般において、団員一人ひとりが常に主人公であり、自分の代役は自分しかできないという意識を持ち“責任”を感じ、“やりがい”に酔いしれて、未来への熱き想いのもと新しいいきいきとした吹奏楽団を目指し日々活動に取り組んでおります。

これから団員一同、さらに心をついに、リラックスして且つ真剣に音楽活動に取り組んでいく想いに胸を膨らませながら、団員を代表しまして、今の心境を一句詠ませていただきます。

—「薫風や大志抱いて団を成す」—

今後とも暖かいご指導、ご支援を、宜しく願っています。

実行委員長 佐藤 浩史

夏です。昨年暮にデビューした我々*A-Winds*の演奏会も今回で早くも3回目。冬、春ときて、夏の演奏会となりました。みなさんは、夏といったら何を思い浮かべますか。海・スイカ・入道雲・花火・かき氷等々いろいろあると思いますが、やっぱり夏といえばイギリスの謎の遺跡「ストーン・ヘンジ」ですね!...すみません。無理やりののはわかってます。と言いますのは、今回の選曲、最初のモチーフは「夏にちなんだ曲」でして、「たなばた」に始まり、アメリカ西海岸の都市が舞台の「サンタフェ物語」と、ここまでは良かったのですが、何故かメインの落ち着いた先が「ストーンヘンジ」。あの風に吹きさらされた謎の遺跡はどちらかという冬のイメージか...いや、いいんです、そんなことは。名曲です。この曲を日本で最初に演奏したのはみなさんご存知の大阪市音楽団、1971年のことでした。私がその年に生まれたのもきっと何かの縁なのでしょう!? それではごゆっくりお楽しみ下さい。

プロフィール

客演指揮者：小谷 康夫

大阪音楽大学器楽科打楽器専攻卒業。第1回管打楽器コンクール打楽器部門第3位入賞。大阪フィルハーモニー交響楽団とジョリベの「打楽器協奏曲」を共演。NHK洋楽オーケストラに合格。ジェイコブのティンパニ協奏曲を小田野宏之、コルガラスのティンパニ協奏曲を山下一史の指揮で共演。1993年、マリンバとヴィブラフォンによるリサイタルを開催。大阪シンフォニカ主席ティンパニ奏者を経て現在、オペラハウス管弦楽団ティンパニ奏者。大阪音楽大学、大阪教育大学講師

*A-Winds*奈良アマチュアウインドオーケストラ

*A-Winds*奈良アマチュアウインドオーケストラは1999年10月、古都奈良に誕生した新しいアマチュア吹奏楽団です。「*A-Winds*(エー・ウィンズ)」の“A”は「アマチュア(Amateur)」の“A”であり、アマチュアならではの音楽づくりを追求することを標榜しています。演奏者一人ひとりの音楽づくりを演奏に反映できる、管打楽器アンサンブルの延長上としての最小人数の吹奏楽=ウインドアンサンブルを指向し、また、吹奏楽の特性を最大限に発揮できる吹奏楽オリジナル曲を中心に取り上げていくことを活動方針としています。

Profile

